

第1回学校評議員会議事録

- 1 日 時 令和5年7月7日（金） 16時00分～18時30分
- 2 出席者 落合 秀樹様・工藤 瀧也様・堀江 裕樹様・佐々木 美香様（欠席者：成田 裕樹様）
- 3 職員出席者 校長 今井 健晴・教頭 原田 壽之・事務長 鈴木 嘉晃
- 4 内 容

- (1) 第8回永嶺祭クラスパビリオンの見学及び審査。
- (2) 校長挨拶
- (3) 令和5年度学校評議員及び本校教職員の自己紹介
- (4) 令和5年度学校評議員委嘱状の伝達
- (5) 学校概要説明（教頭）※主な内容 学校経営・進路状況・学校評価・部活動成績等
- (6) 意見交換
- (7) 諸連絡（次回開催について）
- (8) 校長挨拶

5 意見交換

- (1) 第8回永嶺祭の見学について（学校評議員さんからの意見を抜粋）
 - ア 各クラス代表による担当者の説明が上手で、クラスの取組がすごくわかりやすかった。
 - イ 1年生の声から「学校が楽しい」という回答から、充実した学校教育活動ができていると感じた。
- (2) 地域にひらかれた教育活動について
 - ア 学校の取組について（校長より）
 - ・ 今年度は地域に本校の教育活動を理解してもらうことに重点を置いている。そのためにホームページのさらなる充実。新たな方策として、Instagram等活用するなど幅広く発信していきたい。
 - イ 評議員より（抜粋）
 - ・ 今日、永嶺祭での取組を熱心に説明する姿を見て、外からの見た永嶺生と大きく印象が異なっていた。また、学校概要の説明を聞いて、生徒を通して地域との取組等を知った。もっと永嶺高校の教育活動を発信していくことが必要だと思います。その上で、校長先生のホームページ充実、公立高校でInstagramを活用している例も少ないので有効な手段だと思います。
- (3) 今後、旭川市内の中学生人口の減少する現状を踏まえた取組について
 - ア 学校の取組について（校長より）
 - ・ 昨年度から、高校入試の推薦入試が中学校長の推薦から生徒の自己推薦に変更になったことを好機と捉え、永嶺高校に入学して学びたい生徒を積極的に推薦で入れている。また、入学後の授業についていける学力が身につけていることも加味しています
 - イ 評議員より（抜粋）
 - ・ 永嶺高校に入学したいという生徒を推薦で確保する方策はいいと思います。そのためには、日常の教育活動を含め、中学生や地域への積極的な情報発信がますます重要になると思います。
 - ・ 推薦入試制度の変更に伴う推薦枠の拡大等の積極的に生徒数を確保する取組は理解できます。一方私立高校では、部活動で有能な生徒に対する特待制度、授業料免除、特進制度等で生徒確保をしている中、公立高校には厳しい状況にあるのも事実です。だからこそ、永嶺高校の教育活動や日常の生徒の活動等を積極的に発信して、永嶺高校をPRすることが今後も重要になってくると思います。
- (4) その他評議員からの意見（抜粋）
 - ア 今日の生徒の様子を見て、新型コロナウイルス感染症の対応もあると思うが、永嶺祭の一般公開も含め、授業参観等で地域に積極的に学校を開放して、教育活動をPRして欲しいと思います。
 - イ 永嶺高校は、今年から1間口減となり先生方にも負担が増えることになる。その方策として学校行事等で積極的にPTA等にお手伝いをお願いすることで、先生方の負担軽減と「働き方改革」の推進に繋がると思います。

